

「車椅子にもとめるもの」

大阪頸髄損傷者連絡会 S. C

20代くらいからずっと、OXを愛用していたのですが、車いすでの生活も24年になり、身体もガタがきたのか、この数年不調が続いたりしてしまっていて、昨年の冬に新しく車いすを作ることにした際に、電動にするか簡易電動にするかに悩みました。家の中も電動で過ごす事と、横トランスでの移乗をするトイレやベッドを考えると簡易電動がよかったんです。次に、シーティングを見直そうと思って、PTの先生に相談しました。本体を「MP」、背中のシートを「アイコン ディープバック」、クッションを「バリライト」にしました。

もうすぐ使用して1年になりますが、腰背中のしんどさは若干改善したのかもしれませんが、ただ、お尻に傷ができやすくなってしまいました。姿勢が少しマシになり、圧のかかり方が変わったのか、はたまた私のお尻が弱ってきたのか…。一長一短を繰り返して、自分の体の変化を見ながら、様子を見ています。

今回は簡易電動にしたので、諦めましたが、毎日、朝起きて寝るまで（15時間～18時間くらい）座っていることもあり、足のむくみが年々ひどくなっていたり、横になりたいと思う回数が増えてきていることもあり、チルトやリクライニングをそろそろ考えてもよかったのかなと思うことがあります。これは、次回の課題にしようと思います。



(↓参考。HPより。)

体幹全体と深い側面のサポート

最大のサポートを必要なユーザーに提供します。

アイコンディープバックは、ユーザーの側面からの支持を深くし、肩甲骨を含む体幹全体をサポートします。バックシェルの深い輪郭は、体幹コントロールの弱いユーザーに安定したサポートを提供します。ヘッドサポートを、アルミニウム・シェル上に取り付けることができます。

アイコンディープバックは、PSISブロックと補助のラテラルパッドが付属品で付いており、シェルに面ファスナーで簡単に取り付けられます。PSISブロックは、仙骨・尾骨エリアの圧力を軽減するために、骨盤の後傾を防ぎ脊柱を伸ばします。補助のラテラルパッドは、適合調整を助



アイコン ディープバック